

三井住友トラスト・アセットマネジメント、米国 T+1 決済短縮化に向け DTCC の ITP サービスを採用

ニューヨーク/ロンドン/香港/シンガポール/シドニー、2024 年 4 月 17 日 – 世界中の金融機関に対し、ポストトレード業務のマーケットインフラを提供する Depository Trust & Clearing Corporation (DTCC) は本日、三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社が、2024 年 5 月 28 日の米国における T+1 決済サイクルへの移行に向け、同社の Institutional Trade Processing (ITP) サービス活用し、取引処理の迅速化を図ることになった、と発表しました。

三井住友トラスト・アセットマネジメントは、CTM の Match to Instruct (M2i) ワークフローを含む DTCC ITP の CTM を採用するとともに、TradeSuite ID、ALERT、Settlement Instruction Manager を活用することで、取引後の処理を完全に自動化し、アジア太平洋地域におけるクロスボーダー取引の同日アフターメーション (SDA) の実現を可能にします。三井住友トラスト・アセットマネジメントは、DTCC と野村総合研究所 (NRI) の連携によって実現した、[SmartBridge Advance を通じての ITP サービスを導入した](#)、最初の国内運用会社です。

三井住友トラスト・アセットマネジメントのトレーディング部長 細川 陽介氏は、「当社は、DTCC の ITP サービスを導入できたことを喜ばしく思っています。米国が T+1 決済に移行する中、米国外の金融機関が自動化を活用して Straight Through Processing (STP 化) を可能にし、グローバルスタンダードに合わせることは重要です。当社は、業界関係者と協力し、決済の迅速化に対応できることを嬉しく思います。」と述べています。

決済の更なる迅速化には、ポストトレード業務における取引照合からアフターメーションまでを加速する必要があります。アロケーション、コンファメーション、アフターメーションのプロセスの自動化は、DTCC が提供するセントラルマッチングプラットフォームである [CTM](#) で取引照合プロセスを自動化します。CTM の M2i ワークフローは、CTM のセントラルマッチング機能と [ALERT](#) を介した SSI 付与機能を活用することによって実現し、より速やかな決済業務を可能にします。M2i のワークフローには、ブローカーの設定に応じてアフターメーションを自動化する選択肢があり、運用会社と取引相手ブローカーが CTM で約定照合を行った取引について自動的にアフターメーションを行い、Depository Trust Company (DTC) 決済対象の指図が米国の決済機関に連携されます。さらに、同ワークフローと Settlement Instruction Manager を組み合わせることで、カストディアンや関係する第三者への決済指図を自動的に生成・送信し、決済完了までの取引のライフサイクルをより効果的に管理・監視することができます。

日本では規制上、信託銀行は運用会社の取引活動を監督し、決済前、ポストトレードのコミュニケーションチェーンに参加することが義務付けられています。Settlement Instruction Manager は、運用会社が信託銀行への指図と同時に、直接カストディアンに決済指図を送るという、「外外指図」を選択することを可能にし、信託銀行は、記録保存の目的で決済指示のコピーが提供されます。これにより、アジア太平洋地域で SDA および T+1 決済を実現することができます。三井住

お問合せ先

DTCC

マディハ・アルサラン
+1 813 470 2217
marsalan@dtcc.com

米国

エリック・ハザード、ヴェステッド
+1 917 765 8720
eric@fullyvested.com

欧州

アナ・レイノー
+44 (0) 7866 202 656
ana.reynaud@greentarget.co.uk

アジア

コリーン・リー、DTCC
+65 6805 8033
clee2@dtcc.com

ソーシャルメディア



追加情報

[CTM – Match to Instruct Workflow](#) について詳しく知る

スポークスパーソンの[経歴](#)および[写真](#)にアクセスする。

友トラスト・アセットマネジメントは、国内籍ファンドに対して外外指図を ITP サービスにて採用可能にした最初の国内運用会社です。

DTCC ITP 部門ヘッド(マネージングディレクター兼ジェネラルマネージャー)を務めるヴァル・ウォットンが以下のように述べています。「DTCC は三井住友トラスト・アセットマネジメントと共に、この地域における決済の迅速化を可能にするサービスを提供できることを喜ばしく思います。米国における T+1 への移行に向け、クロスボーダー取引と国内取引の両方で決済までの時間を短縮することがこれまで以上に重要になっています。ITP のサービスは、世界中の何千もの取引相手とシームレスに接続しながら、取引相手がより迅速に決済を完了できるよう、揺るぎない地位を確立しています。」

###

DTCC について

DTCC は、グローバルな金融サービス業界を対象として 50 年にわたる豊富な経験を持ち、プレミアムなポストトレードの市場インフラを提供しています。弊社は世界中に 20 カ所の拠点をもち、弊社子会社を通じて、金融取引処理の自動化、一元化、および標準化のためのインフラの提供を通じ、数千社におよぶブローカー／ディーラー、カストディアン銀行、および資産運用会社等のお客様のリスク軽減、透明性向上、および効率性向上に貢献しています。弊社は、業界に対する責任とガバナンスに基づいて運営され、様々な資産クラスにわたり、精算、決済、資産運用、データ管理、データ報告、および情報サービスにおける業務プロセスを簡素化することで、金融市場の安全性および健全性向上に寄与しています。DTCC の各子会社が 2022 年度に処理した証券取引の市場価値は、およそ 2,500 兆ドルに達します。また、弊社のデポジトリ部門は、150 以上の国および地域で発行される証券に対してカストディおよび資産運用サービスを提供しており、その時価総額は 72 兆ドルに上ります。DTCC のグローバル取引レポジトリサービスは、各国で登録され、営業許可を受け、または承認された取引レポジトリを通じて、年間 175 億件の取引メッセージを処理しています。詳細については、弊社ウェブサイト www.dtcc.com をご覧になるか、[LinkedIn](#)、[X](#)、[YouTube](#)、[Facebook](#)、および [Instagram](#) の弊社アカウントをご参照ください。